おんがく広場
Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい　令和2年(2020)4月10日創刊
♪Music Square♬
第254号
令和6年(2024) 1月25日(木)
発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一
連絡先　rkato@max.hi-ho.ne.jp

ノートルダムの鐘

英友会有志劇団

Producer / Director
藤井 爽　Fujii Akira

初めての千葉県外での公演にも関わらず、約500名のお客様に披露することができました。見に来て下さった方、応援してくださった方、誠にありがとうございました。

- ❒ 2024年1月20日(土)
- ❒ 久喜市栗橋文化会館イリスホール(埼玉)

終演時の様子

今回の第8弾プロジェクト「**The Hunchback of Notre Dame(ノートルダムの鐘)**」は、2023年3月の募集をもって始まりました。11ヶ月にわたる活動の中で目指したかったのは、アメリカ公演版や劇団四季版のような、重厚なハーモニーや暗転をほぼ使わない場面転換の巧みさでした。

稽古を始めた4月は、公民館も人数制限されていましたし、マスク着用で練習していましたが、幸いにも5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこともあり、それほど苦労はしなかった印象です。第7弾の時は、毎回検温や健康チェック表への記入、換気等を徹底し、客席も上限ある中で苦労しました。

7月のオーディション前から、冒頭の「The Bells of Notre Dame」の歌唱や演技および「Topsy Turvy (Part1)」のダンスを応募者で練習しておりましたが、作品の良さによるものなのか熱量もスキルも高いキャストに恵まれ、その時点で公演が楽しみになっておりました。

オーディション時の「The Bells of Notre Dame」

配役決定後の8月からの練習に間に合わせるために、移動用の手摺や長椅子、広場などで使うステージを大急ぎで製作しました(例年通り阿部健さん(アルファ舞台工房)にお世話になりました)。早朝にハイエースやキャラバンをレンタルし、練習場所である千葉市内の公民館に運んでは深夜にレンタル倉庫に戻した日々もいい思い出です。それらが功を奏したのか、われわれの場面転換も作品として違和感なくできたのではと思っています。

移動可能な手摺りを使った稽古

また、聖歌隊としてAura Marisさんと混声合唱団Project Cさんにもご参加いただきました。それぞれ活動拠点が、千葉の幕張と東京の府中と離れており、3団体合同で練習できる機会は限られていました。そのため、基本は各団体でそれぞれ練習したり、LINEで指摘しあったりして修正していきました。制限がありながらも各団体が努力し、結果として目標としていた重厚なハーモニーをお客様にお届けすることができたと思います。もちろん歌唱指導の先生方による懇切丁寧なご指導の賜物であることは言うまでもありません。

千葉市内公民館での３団体合同練習

多くのメンバーが社会人でそれぞれ本業がある中、キャストと掛け持ちで大量の衣装や舞台美術を製作しました。時間に限りがある中でもこだわりを持って製作してくださるメンバーが多く、公演での「ノートルダムの鐘」の世界観を作り上げるのに一役買っていました。

初めての字幕投影、会場規模が例年より大きい中での照明・音響・マイク調整、年々レベルの上がっていく広報、お客様の数が多い中での受付をはじめとして、本当にさまざまな方に支えられてこのような公演を打つことができました。

ステージ両脇に投影された字幕

私一人では見られなかったであろう景色が広がっていて感無量でした。何より終演後の拍手や歓声が今回の公演の成功を物語っていたと思います。本当にありがとうございました。

【英友会有志劇団　プロフィール】

2014年に千葉大学ESS(英語会話部)のOB・OGで旗揚げ。「やりたい作品を、形にする」を掲げ、作品ごとにメンバーを募集し、これまで英語ミュージカルを8回公演してきました。千葉市を活動拠点とし、演劇初心者から経験者まで性別、年齢、国籍を問わずさまざまなメンバーで活動しています。

お問い合わせは劇団ホームページからお願いします。

https://eiyukai-theatre-group.com/

編集者より：本公演はようやく探し当てたホールが埼玉県久喜市という見知らぬ町だったこともあり、広報活動はじめ上演に漕ぎつけるまでにかなりのご苦労をされました。大盛況のうちに幕を閉じられたことに最大の賛辞を贈ります。

いまだ消えない新型コロナの猛威

団員の半数感染・体調不良で定演中止に
岡山大学男声合唱団コール・ロータス

1月27日に予定されていた岡山大学男声合唱団コール・ロータス第63回定期演奏会は、直前の1月24日になって急きょ中止が発表されました。団員の半数がコロナに感染もしくは体調不良を訴えたため、急遽中止せざるを得なくなり、それに伴いOB練習とOB総会、およびレセプションもすべて中止となりました。

新型コロナウイルス感染症は季節性インフルエンザと同じ2類相当から5類へと変更されましたが、ウイルス自体がなくなったわけではないことがこれをみてもわかります。定演を目前にして中止という事態となり、関係者、とくにコロナ禍で厳しい学生生活を強いられてきた現役の学生のみなさんの心情は察するにあまりあります。

コール・ロータスは1961年に結成された岡山大学の学生による男声合唱団。Wikipediaによれば、設立時は医学部生のサークルでしたが、その後全学部に解放されました。1966年には全日本合唱コンクールで学生の部第3位に輝いています。OB会合唱団も健在で、5年毎の記念定期演奏会を開催しています。2020年には還暦演奏会と題した記念演奏会を開催予定でしたが、コロナ禍のため中止されています。

男声合唱とピアノのための「**五つのモノローグ**」(作詩 谷川俊太郎、作曲 信長貴富)は、創立50周年を記念して委嘱された作品です。

来る7月21日(日)、「**岡山大学男声合唱団コール・ロータス創立60周年記念演奏会**」(岡山シンフォニーホール)では、初代指揮者・桂冠指揮者である**武内成禮**先生(2023年1月6日逝去)の追悼コンサートと位置付けています。コンサートでは、信長貴富作曲「五つのモノローグ」、多田武彦作曲「雨」、多田武彦アラカルト等を予定しています。

岡山大学男声合唱団コール・ロータス
https://chor-lotus.sakura.ne.jp/

岡山大学男声合唱団
コール・ロータスOB会
https://www.lotusob.com/